

歴史を生かした街づくり

第一弾

仙台の正月風景

令和元年12月16日(月) 14:00~16:30

会場 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

受講料 700円 (心のふるさと創生会議会員は500円)

テーマ1. 仙台城の門松を復元する

—伊達政宗の見ていた正月飾り—

倉橋 真紀(仙台市博物館 学芸普及室)

テーマ2. 仙台城下の正月

—失われた行事、作られた伝統—

菅野 正道(元仙台博物館主幹・仙台市史編纂室長)



※申込み方法は裏面をご覧ください。

主催:(一社)心のふるさと創生会議

共催:東北福祉大学

【申込先】 東北福祉大学 生涯学習支援室

FAX: 022-766-8835

E-mail: life@tfu-mail.tfu.ac.jp

仙台の伝統的な門松を復元する

—伊達政宗の見ていた正月飾り—

倉橋 真紀(仙台市博物館 学芸普及室)

門松といえば、殆どの方は、斜めに切った三本の竹をわらで巻いたものを連想するのではないのでしょうか。仙台城に飾られていた門松は、松や竹をつなぎ合わせた柱状の一對を、しめ飾りで繋ぎ合わせる形で飾られていたという記録があり、その高さは3から5メートルあったそうです。

仙台城の門松の解説や当時の門松を見ることができるスポットを紹介していただきます。

仙台城下のお正月

—失われた行事、作られた伝統—

菅野 正道(元仙台博物館主幹・仙台市史編纂室長)

お正月には餅やお節料理を食べる習慣が今も残っています。また、1月14日には、正月飾りをどんと祭で焚く風景を仙台のあちこちで見ることができます。では、仙台城下で行われていた習慣や行事がどのようなものであったか、今に引き継がれている正月行事はいつ頃から行われているのかななどを解説していただきます。



東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

【アクセス】

仙台駅 東西地下自由通路 出入口1から徒歩0分
東西線「宮城野通駅」北1出口から徒歩3分

ご利用の際は、公共交通機関でお越しください。
※本学に駐車場・駐輪場のご用意はありません。

定員・料金

定員:100名 受講料:700円 (心のふるさと創生会議会員は500円)

申込み方法

下記の申込書に必要事項をご記入の上、12月13日(金)までに、はがき、FAX、電子メールでお申込ください。定員に達した場合、お断りする場合があります。
電話でのお申込みは、受付けておりません。ご了承ください。

【問合せ先】

〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26 東北福祉大学 生涯学習支援室
電話: 022-766-8834 FAX: 022-766-8835 E-mail: life@tfu-mail.tfu.ac.jp

受講申込書

講座名	仙台の正月風景		
氏名	ふりがな	年齢	
		歳	
住所	〒		
電話・FAX	電話番号		FAX番号

※ご記入いただいた情報は、適切に管理いたします。